



サステナビリティへの想い

野村不動産グループでは、当社グループにおける2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride ー地球を、つなぐー」を策定いたしました。

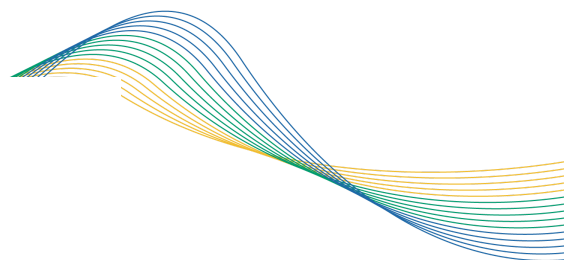
これまで当社グループは、「私たちの約束」として「あしたを、つなぐ」というグループ企業理念のもと、不動産開発と不動産関連サービスの連携による事業活動を推進してまいりましたが、2050年という将来に向けて、企業活動の舞台である地球を“誇れる地球”として未来へつなげていくために、企業として果たしたい役割をこのサステナビリティポリシーに込めました。

この「Earth Pride ー地球を、つなぐー」は、当社グループが大切にしたい「人間らしさ」、「自然との共生」、「共に創る未来」の3つのテーマをベースにしています。

■ サステナビリティへの想い	23
----------------------	----



地球をひとつの生命体として捉えたとき、
私たち一人ひとは、
それを構成する細胞の
一つひとつといえるかもしれません。
そして、毎日の過ごし方や作り出した
建物の数々は、
その大きな生命に作用し続けています。
だからこそ、私たちの日々の営みは、
地球をよりよい環境でつないでいくもの
でありたいと思うのです。



野村不動産グループは、
2020年8月から「2050年のありたい姿」を
検討してきました。
私たちにできることは何だろう。
社内の若手から経営層、社外の様々な
ステークホルダーの声を
集め、ひも解き、築き直すことで、
人間・自然・未来のために私たちが事業で
貢献できることをもう一度考えました。

SUSTAINABILITY POLICY

2050年の ありたい姿

2050

生まれたのが、
「Earth Pride 地球を、つなぐ」
私たちならではのサステナビリティのあり方、
進むべき道を示す指針となる言葉です。



Earth Pride

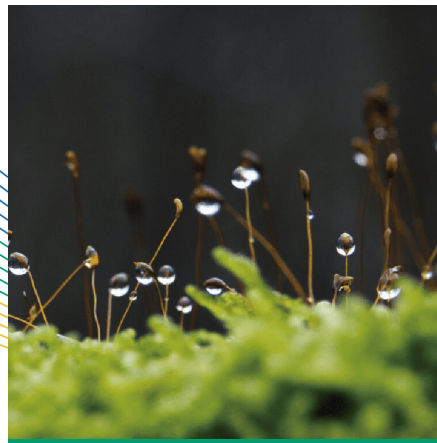
地球を、つなぐ

この言葉は、私たちが大切にしていきたい
「人間らしさ」「自然との共生」「共に創る未来」の
3つのテーマをベースにしています。



人間らしさ

テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。



自然との共生

未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見つめ直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係より良いものへと変えていく。



共に創る未来

多種多様な組織・人が共に手を取りあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。

事業性

社会性

野村不動産グループは、事業性と社会性をひとつのものとしてとらえ、事業活動において、配慮すべき社会課題やステークホルダーの皆さまの期待に向き合い、サステナビリティの取り組みを推進しています。

これらを実現するために、

「社会と社員」と

「気候変動と自然環境」に向き合い、

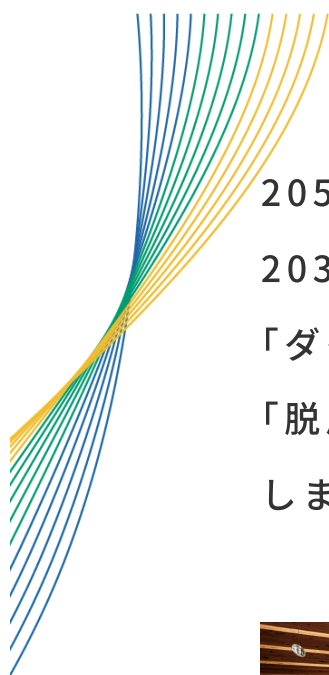
カタチにしていきます。

MATERIALITY

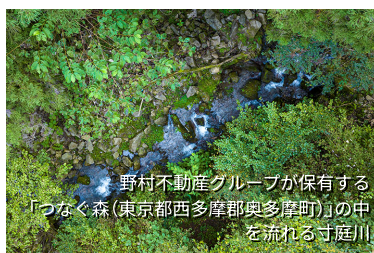
2030年までに

取り組むこと

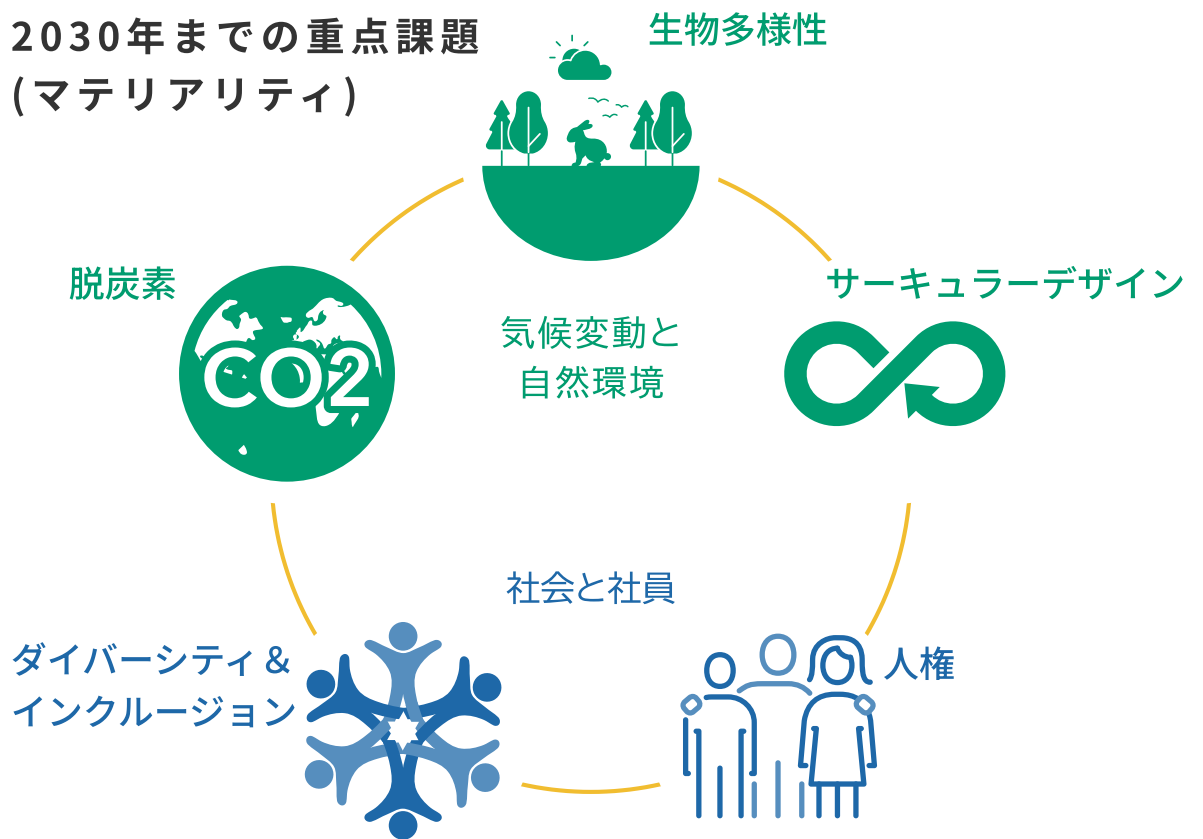
2030



2050年のありたい姿を実現するために、
2030年までに優先して取り組むべき課題として、
「ダイバーシティ&インクルージョン」「人権」
「脱炭素」「生物多様性」「サーキュラーデザイン」の5つを特定
しました。



2030年までの重点課題
(マテリアリティ)



詳しくはこちら [▶](#)



まず、同じ環境を共に生きるすべての人に向けて、
それぞれの個を尊重し、認め合い、受け入れ、活かしていく、
「ダイバーシティ&インクルージョン」「人権」を意識した
日々の環境づくりを基礎とする。

その上で健やかな地球環境を実現すべく、

住宅、オフィス、商業施設、物流施設などの開発や関連サービスの提供を通じて

「脱炭素」「生物多様性」「サーキュラーデザイン」を成し遂げていきます。

LINK

総合サイト 